

【本体個人フォルダの作成】 初期搭載フォルダを本体個人フォルダへコピー

本体個人フォルダの使用

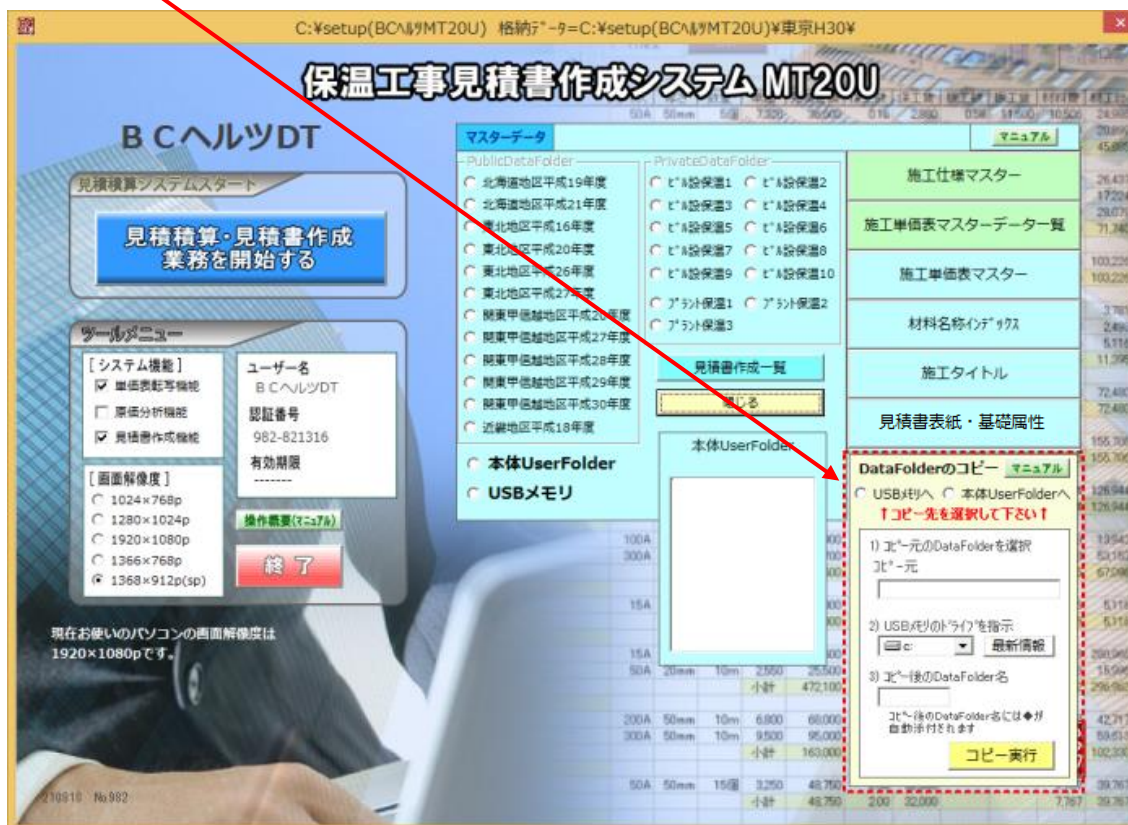
パソコン本体のマスターデータを本体フォルダに別名を付けて（※以下「個人フォルダ」）コピーして使用ができます。

★ この「個人フォルダ」により、初期搭載フォルダを変更することなく独自のマスターデータの更新及び、各個人データにて見積書の作成及び見積データの記録が可能となります。

1) 「DataFolder のコピー」ボタンをクリックします。

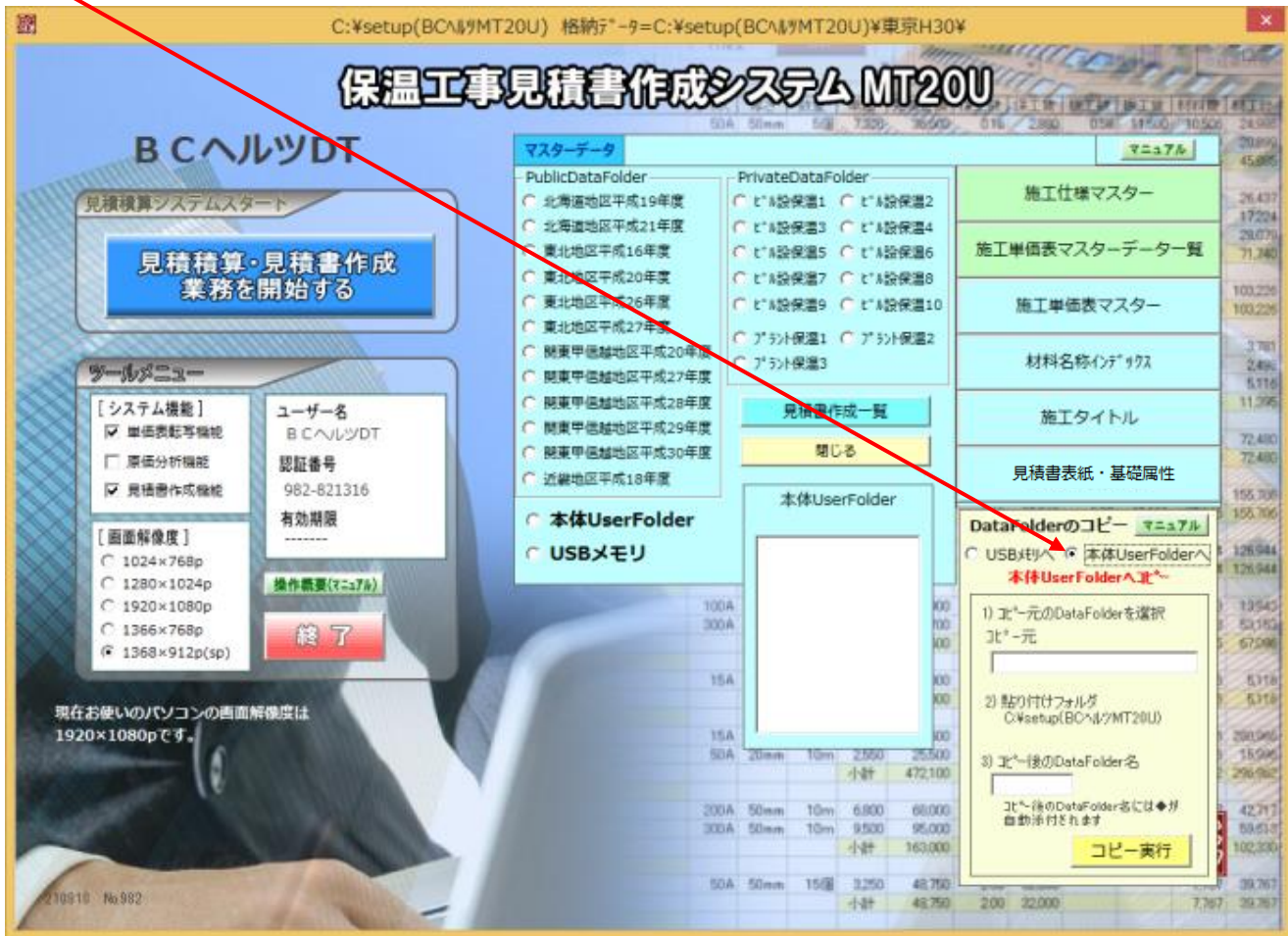


2) 「DataFolder のコピー」画面が表示されます。

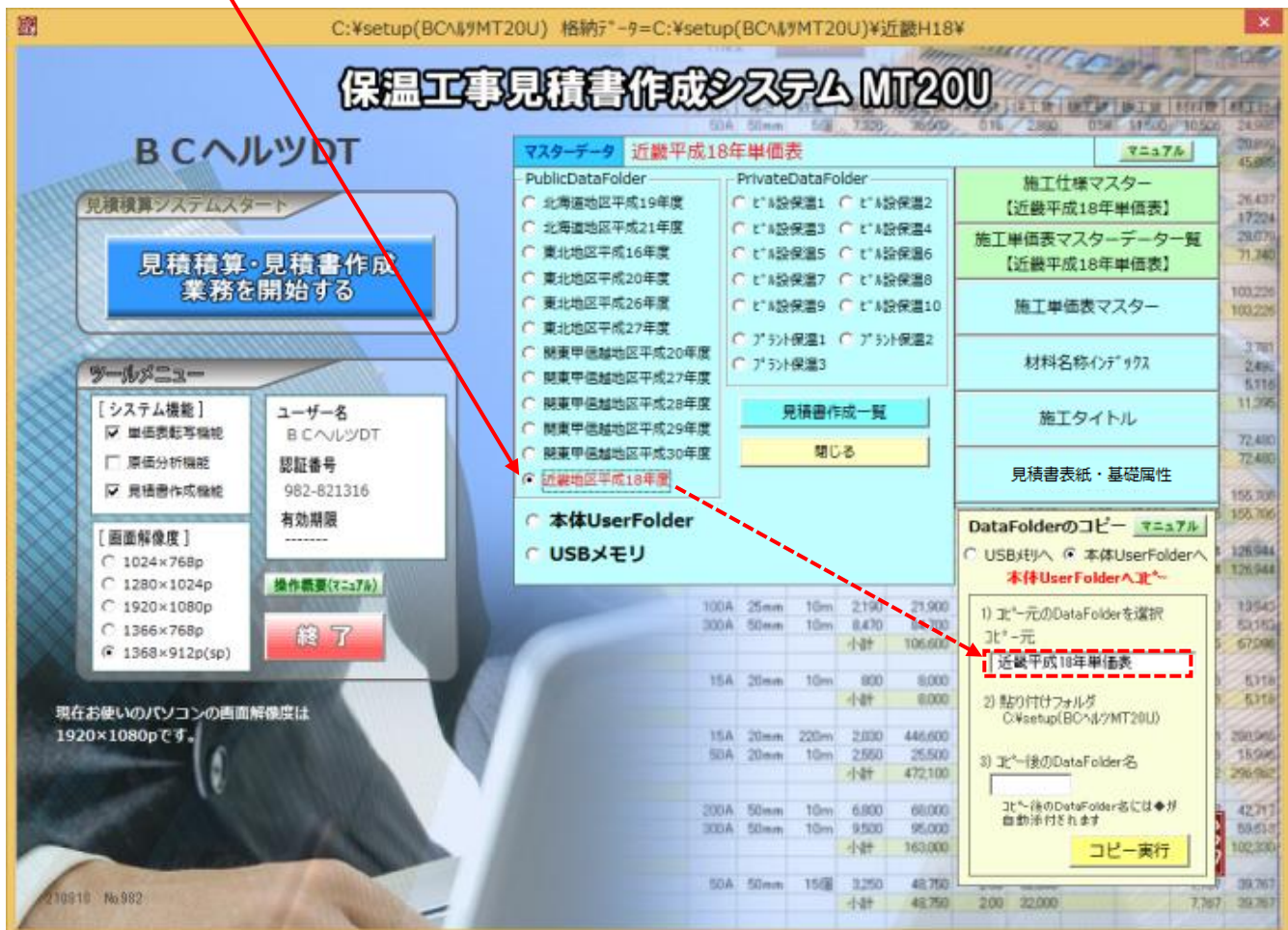


3) 「本体 UserFolder へ」を ON にします。

[TOP](#) 



4) コピー元となるマスターデータのフォルダを選択します。



DataFolderのコピー マニュアル

☐ USBメモリへ ☒ 本体UserFolderへ

本体UserFolderへコピー

1) コピー元のDataFolderを選択
 コピー元
 近畿平成18年単価表

2) 貼り付けフォルダ
 C:\setup\BCヘルツMT20U\

3) コピー後のDataFolder名
 社員A

コピー後のDataFolder名には◆が自動添付されます

コピー実行

保温工事見積書作成MT20U

コピー完了しました。

OK

この状態で表示の箇所(例では◆社員 A)をクリックするとこのマスターデータにて可動し、見積データも当フォルダに格納されます。

